〔科目名〕
教養演習

〔単位数〕
4単位

〔科目区分〕
演習科目

〔担当者〕
西村　吉弘

〔授業の方法〕
演習

〔演習テーマ〕
公共政策

〔演習内容〕
政策に関する研究について、理論と実証性に対する理解を深めることを目的とする。学習における動的過程を経て、第1に文献レビュー等の基礎的なスキルを身に着け、学問上必要とされる問いを見出せるようにする。第2に、各自が学問を追究する際、「何を追究するのか」、「新たな知見は何か」といった部分にアプローチできることを目標とする。

また、方法論の選定（フィールドワークによる質的研究なのか、理論研究なのか等）、フィールドワークの場合の対象の選定といった研究の基本事項について理解を深める。そして、自身に合った方法論を見出せるように学びを深める。

これらを踏まえ、適宜ゼミの中での発表を通して、他者からの批評を受け、精度を高める取り組みも繰り返し行っていく。基本的に、年間を通してグループによるレジュメの作成と発表、個人によるレジュメの作成と発表を想定している。そして、4年生の卒業研究に向けた問題関心のブラッシュアップや、問いの抽出に取り組み、より学びを深められるように基礎固めをする。

政策分野の中で、教育政策がメインであるが、そのほかに本演習では次の内容に関心のある学生の参加が望ましい。
→教育学、学校教育、生涯学習、国家行政、地方行政、地域づくり、まちづくり、地方創生、ボランティア活動など。

〔科目の到達目標〕
1、研究したいテーマを設定できる。2、文献レビューのための、基本的スキルを獲得する。3、自分自身に適した分析手法を、見出すことができる。

論理的思考力の養成、学術論文の執筆能力の育成。本ゼミでは、各自が問いの抽出と研究方法の選定まで終えることを最終的な目標とする。

〔ディプロマ・ポリシー（DP）との関係〕

学部				学科		
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3
	○	○	○			

〔前提条件〕
なし。

〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等）
演習の際に作成したレジュメや、質疑応答の内容を踏まえ、総合的に評価する。

〔教科書等〕
必要に応じて、適宜案内する。

〔実務経歴〕
なし。

授業スケジュール	
時期	テーマと内容
第 1 回 ～ 第4回	テーマ（何を学ぶか）：各自の専門領域の確定に向けた準備 内　容：　各自の専門領域の確定に向けた準備 教科書・指定図書　必要に応じて、適宜配布する。
第 5 回 ～ 第 10 回	テーマ（何を学ぶか）：各自のテーマに沿った文献レビューに関する作業 内　容：各自のテーマに沿った文献レビューに関する作業 教科書・指定図書　必要に応じて、適宜配布する。
第 11 回 ～ 第 14 回	テーマ（何を学ぶか）：文献レビューから見出した問いの抽出と研究方法の選定 内　容：文献レビューから見出した問いの抽出と研究方法の選定 教科書・指定図書　必要に応じて、適宜配布する。
第 15 回	テーマ（何を学ぶか）：授業の総括 内　容：半期の学習内容のまとめとふり返りを行う。 教科書・指定図書　必要に応じて、適宜配布する。
第 16 回	テーマ（何を学ぶか）：　グループ編成と発表に向けた準備 内　容：　関心のあるテーマごとにグループを編成し、文献レビューと問いの抽出、分析手法の確認、考察までを一体的に進める。また、グループ発表は輪番制とする。 教科書・指定図書　必要に応じて、適宜配布する。
第 17 回 ～ 第 19 回	テーマ（何を学ぶか）：　グループ発表に向けた準備 内　容：　グループ発表に向けた準備 教科書・指定図書　必要に応じて、適宜配布する。
第 20 回 ～ 第 26 回	テーマ（何を学ぶか）：　グループ発表を踏まえた学習 内　容：　発表及び質疑応答を行い、その後リフレクションまで検討し、一連の学習とする。 教科書・指定図書　必要に応じて、適宜配布する。
第 27 回 ～ 第 29 回	テーマ（何を学ぶか）：　グループ発表後のリフレクション 内　容：　各グループの発表を踏まえ、自己のふり返りと他者のふり返りの両面から検討し、全体の力量形成へと高めていく。 教科書・指定図書　必要に応じて、適宜配布する。
第 30 回	テーマ（何を学ぶか）：授業の総括 内　容：学習内容のまとめを行う。 教科書・指定図書　なし。